





優しさと福祉祉

藤崎小学校

山本真子

去年の夏休み、藤崎小学校、中

央小学校、常船小学校の六年

集まつて、藤崎町子ども議会が行

わ  
れ  
ま  
し  
た。  
藤  
崎  
町  
を  
上  
り  
よ  
く  
す

るためには三校の小学校から六年生

が  
議員に  
なつた  
モリで  
意見や  
猶

問  
を  
し  
たり  
答  
弁  
し  
た  
り  
す  
る  
議  
會

アリスの言葉は、アーヴィングの筆によれば、

ニ	レ
の	ア
又	タ
金	カ
走	カ
生	ガ
ハ	サ
一	カ
て	カ
、	マ
藻	シ
大	カ
可	カ
打	カ

毛  
ニ  
の  
絶  
馬  
モ  
シ  
カ  
リ  
一  
用  
山  
王

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23  
24  
25  
26  
27  
28  
29  
30  
31  
32  
33  
34  
35  
36  
37  
38  
39  
40  
41  
42  
43  
44  
45  
46  
47  
48  
49  
50  
51  
52  
53  
54  
55  
56  
57  
58  
59  
60  
61  
62  
63  
64  
65  
66  
67  
68  
69  
70  
71  
72  
73  
74  
75  
76  
77  
78  
79  
80  
81  
82  
83  
84  
85  
86  
87  
88  
89  
90  
91  
92  
93  
94  
95  
96  
97  
98  
99  
100

い 元気で明るい町にすることがで  
 きます。  
 次に人にも物にも優しく接す  
 ることを提案します。人に優しく接す  
 ることなどを当たり前のことですが  
 みなさんは物にも優しく接するこ  
 とがてきているでしょうか。本当に優しく接す  
 る優しさとは、植物や物にもの思ひ本當  
 の例えば、駅前通りには、お花の  
 プランターが並んでいます。お花の  
 のきらいな人はいません。お花を  
 見ることで心がなさいません。  
 公共の物に傷をつけなさいません。  
 みんなが気持ちよく使うことです。  
 事です。

ためです。もし傷つけられたら、お年寄りで  
 も優しさで、藤崎町が優しくなってす。  
 いつもはいになつたら、おふれた人で、も  
 体の不自由な人でも、小さな子で、  
 と思ひます。これが福祉の底にな  
 る考えだと思ひます。たれもか  
 目指していいと思えるようなります。  
 私が提案したいことの最後は、  
 マナードにつけさせてす。  
 めいわくをかけりることとがまた  
 とも思つていいです。自分  
 と他自分で、最後は、  
 他の人に何

ま す。他 の 人 の 立 場 に 立 つて 考 え  
て ほ し い と 思 い ま す。例 え ば、自  
転 車 で 横 に 二 列 に 並 び な が ら 走 つ  
て い る 時 、自 分 で は 何 と も 思 わ な  
樂 し い か も し れ ま せ ん。お し ゃ べ  
り 加 道 を 歩 い て い る 人 や、ベ ピ ー カー を  
押 し て い る 人 や、重 い す の 人 か ら み  
る 手 の こ と を 思 い や リ と マ ナ ー を  
も 増 え る と、キ ー と 薩 嵐 町 は 守  
き と も よ い 町 に な れ る と 思 い  
い が す。そ し て、私 が 吉 大 キ く  
し て 言 い た い の が 相 手 の こ と を 田 代  
い や る こ と、こ れ が 福 祉 だ と い う

な	モ	く	界	表	私	さ	私	と	人	先
ん	ち	さ	的	し	達	ひ	も	お	は	生
は	う	ん	劇	ま	六	し	そ	こ	独	か
な	ん	の	を	た	年	い	う	し	り	
れ	マ	福	作	。	生	な	い	や	つ	
ス	ザ	祉	リ	マ	は	氣	思	た	こ	
う	・	に	上	サ	・	持	い	こ	と	
に	・	つ	げ	・	マ	ち	ま	こ	が	
あ	テ	い	て	劇	サ	で	す	が	て	
リ	レ	く	・	・	・	暮	ら	あ	い	
ま	サ	中	・	テ	テ	ら	す	り	け	
せ	の	で	・	レ	レ	し	人	ほ	な	
ん	よ	・	私	サ	・	・	が	一	ま	
が	う	た	達	は	は	・	全	ち	す	
			世	発		た	く	の	。	

感	れ	と	自	病	人	と	か	た	マ
じ	て	感	分	気	間	つ	ら	福	サ
て	も	じ	は	で	に	つ	も	祉	・
マ	ら	る	こ	も	と	一	し	対	テ
サ	い	こと	の	貧	番	番	っ	し	レ
・	た	に	世	因	悲	悲	と	て	サ
・	い	生	に	で	し	し	心	の	か
テ	の	を	・	ま	い	い	に	考	ら
レ	で	受	・	あ	ら	ま	と	え	教
サ	す。	け	自	・	な	せ	め	方	え
の		た	分	は	い	こ	て	は	て
言		の	は	望	ま	こ	も	、	も
葉		と	だ	ま	だ	は	う	れ	う

福祉の勉強を少り反覆つ

藤崎小学校六年

白川  
日子

私の通うていいる藤崎小学校では、総合的な学習の時間に福祉の勉強は四年生から始まります。福祉の勉強は四年生をしていきます。老人ホームの見学と高齢者擬似体験やお年寄りの方々との交流活動をしました。お年寄りの方々の気持ちは初めて知ることになりました。特に、お年寄りの方々と一緒に車いすをきかせていました。また、お年寄りの方々と一緒に車いすをきかせたり、お年寄りの方々と一緒に車いすをきかせたりする作業をしました。

五年生になると、手話を教えに来てくださいました。先生に、あいさつの仕方を教えてもらいました。また、手話を加えて発表しました。学習発表も楽しく学習しました。歌うなど楽しさを楽しめました。会話付きの全校合唱を歌いました。地域の人間に聞かせました。地区の不自由な方への接し方を学びました。四年生では、点字だけではなく、盲導犬による学習もしました。このようになり、五年生では、盲導犬による学習もしました。

人達	が	ア	界	時	か
達	ル、	ン	福	車	お手伝
が	アバーン	リ	祉	い	いる人
た	ザ	ー	に	九月	がいたら、
く	ー	デュ	下す	に修学旅行	声をかけ
さ	ン	ナ	さわ	で	ます。
ん	など福	ー	フ	五年生	がけた
い	祉で活	テ	た	六年生	何
ま	サ	レ	せ	六年生	かげた
す。	、	サ	界の偉人達	は	かげた
私	オ	ナ	は	マ	かげた
は	ー	イ	六	一	かげた
友達	ド	ン	年生	マ	かげた
た	ソ	ケ	は	は	かげた
し	ー	ー	世	学	かげた

生	い	て	調	し	い	と
けん	ん	で	べ	る	こ	い
命	め	く	に	な	に	チ
に	う	も	新	イ	し	ン
がん	う	う	聞	ア	エ	ケ
ばり	う	う	か	ル	ル	ー
まし	う	う	近	の	し	ル
た。	う	う	か	と	ま	し
劇	う	う	・	と	し	た。
を	う	う	た	い	ま	ナ
一	う	う	と	う	し	イ
か	う	う	考	こ	ま	チ
ら	う	う	え	と	し	ン
作	う	う	ま	ま	し	ケ
た	う	う	し	た	た	ー
の	う	う	た	。	。	ル
に	う	う	の	マ	。	に
福	う	う	で	ザ	。	ナ
社	う	う	も	ー	。	イ
を	う	う	き	テ	。	チ
も	う	う	ま	レ	。	ン
練	う	う	し	サ	。	ケ
習	う	う	た		。	ー
を	う	う	と		。	ル
一	う	う	知		。	に



ユニ押され、けをした事件など  
 また、スに入ると悲しくなります。  
 公共の場での移動に不便な  
 ましであります。どんな人でも安心  
 して生活できたりよ  
 どんなんできたりよ  
 いよいよ  
 みんなで今一度福  
 所もあツます。  
 して生活であります。  
 いと思ひます。  
 社につけられて考  
 えていきまし  
 ます。



マザーテレサの剥き通し

藤崎小学校

六年

通口卓朗

学習発表会で六年生は劇をやる  
ことになります。今年はどん  
な劇をやるのかなと楽しみにして  
いました。先生が、  
「今年の劇は、マザーテレサの活  
動をテーマにします。台本作り  
からみんなにやってもらいま  
すよ。」  
と、言つた時、ぼくもみんなも驚き  
ました。少し不安になりました。  
台本作りなんとかやつたことがあり

ません。

藤崎 小学校では「福」

## 總合的文學

藤崎 小学校では、福社の勉強に力を入れています。総合的な学習の時間には、「福社」の勉強で、新聞にまつめました。マザーテレサにつけた「マザーテレサの考え方」というのを聞いて、福社の勉強で学んだことをマザーテレサの活やくをいくつか選んで、それを通して、福社を中心勉強してきました。

なく、せんなりしたこと考へて練習でし  
するので時間がかかるにまし。  
に、気持ちを一つにし声や動き  
を合わせるのが難しく、何度も何  
度もくり返しました。グルーピングの位置  
決め、衣装あわせと進む中でセリ  
れたりして頭が混乱するところもあ  
りました。

十月二十五日、学習発表会本番

です。教育長さんや地域のお客さ  
がいらっしゃいました。ぼく達

は、みんな緊張していました。ぼく達

く達がマザーテレサがう教えても  
う、た、貧しくても病人であって  
も困？ている人を助けあげるこ  
と、何もなくても知恵と工夫を集  
めるこ何かがじきることを  
劇の一場面、一場面でうたえま  
した、マザーテレサみたいに大き  
なことは無理だとしてモ、小さな  
ことを何回もやりたいと思いま  
福祉にたずさわつた世界の人達  
はたくさんいます。もううんマザ  
ーテレサはノーベル平和賞にかが  
やいた人ですが、他の人に達  
が興味を持ったのが、アンリ・デ  
ナンです。学校のう下に丁R

このコーンガリ、デュナンの写真がかかれています。デュナンは戦争があり、そこにはアーニー・デュナンの写真があります。デュナンは戦争がなく、人々が平和に生きていた時代です。しかし、敵味方関係なくけが人を殺すことがあります。自分がことより他人のこと

考え行動したこと。さーて、さーて、  
方関係なく治りようした。テニアン  
じちうも人を思いやる心を持つて  
活動していましてた。元して母は、  
どんな小さいことでもいいから、  
自分でできることがう始めみよ  
うとする気持ちが、おのずと福祉  
につながつていいくんだけよと言われ  
ました。の姿にびつくりしましてた。  
ひとりになつて母の言葉をく  
返してみたう、母も大事なここと  
つかう熱く語っていきましたんだけ  
と思いましてた。ぼくは、家族と福  
祉について話ができてよかっただけ  
に思ってました。

と思ふと同時に気持ちが樂になりました。最後に、六年生の劇のエディンブルグで歌った歌の詩を紹介して終わります。

人モ・島モ 花モ  
みんな生きている  
命の木つこでつなが  
りんごの木の下で  
考えてごらんよ  
りんごの木の下で  
考えてごくんよ  
君にできるこ  
考えてごうんよ  
君は風になつて  
心の小枝にこまつて  
もしも  
この街に緑がなかつたら  
ふれ合う言葉さえも



私達にできる福祉

藤崎小学校

六年

野呂結

福祉とは何だろうと直劍に考え  
たことがあります。

簡単に言えると、体の不自由な  
人やお年寄りを助けてあげること  
だけが言えるでしょ。でも、それ  
見を述べることも福祉だと思いま  
した。つまり、体の不自由だ人に  
自分ができる手助けをしたり、お  
年寄りに優しくしてあげたりする

ことも福祉だと思うし、その人達  
の立場に立て意見を述べること  
も福祉だと思うのです。

このように考えると、とても簡  
単なことのように思えてきました。  
福祉はだれにでもできることなの  
です。相手を思って意見を述べるこ  
とはちよつと意識するとだれに  
でもできるのではないでしょう  
が、ちよつとの気遣いや思いやりが福  
祉につながるという感じがします。  
以前にニュースで盲導犬にけが  
をさせた事件を覚えていろ人もい  
ふと思します。けがをさせた人は

どんなことを考へていたのをしょ  
うか。少なくとも、目の不自由な  
人を助けたいとか、盲導犬の役目  
を知りたいとか、盲導犬をきず  
つけることは目をラバラも同様の  
行為だとがは考へて、ながらたと  
思います。総合的な学習の時間に  
盲導犬をつれてきてく水た人がい  
ました。盲導犬の役割や盲導犬に  
対しての考え方などを話してくれ  
ました。盲導犬は目の不自由な人  
の自分であり、パートナーなのです。  
学習してみて、盲導犬のことと誤  
解している人もいるといふことが  
悲しく思いました。

自分の身の回りを見ると、体の  
不自由な人やお年寄りが近くにい  
る人が多いくと思します。私は介  
護施設があるのは、そこで働いて  
いる人達が私達より介護すること  
が上手だからだと思います。でも  
特別なことがないくても、介護  
が下手で七福社にたずさわるこ  
とができるようになります。そこで  
がんなどができないことがあります。  
しません。自分の不自由な人にま  
す。横断歩道で待っていい  
人には、信号が変わったことを  
知ります。

らせることができます。  
耳の不自由な人には、病院で呼ばれていたら教えてあげるとか、ゆくくり大きな声で話してあげることができます。ジエスチューで伝えることもできました。  
車いすの人には、車いすを押してあげるとか、エレベーターとロープの場所を教えてあげることができます。この作文を書いてくる時に、ガーンなことを言いました。  
「福祉は何でしかんでもやつてあげることではないよ。どんな人はでも普通の人のようにくらして

いた。体が不自由だからって必ずしも。私は、それもそらだなと思いまして。私は、それをちやうけたことだらうと思います。相手のことを見た。私は、私はまだ体の不自由な人が介護が必要なお年寄りに会ってはしません。だからこそ、「福祉」とは何かを考えたか?たのでま。いつ、「どこの自分の手助けが必要な人に出会うかわがりません。そこな時、無視するよりは、ことはし



手伝いをしたいと思う人が増えて  
福祉につけられて者えたことを忘れな  
いようにしたいです。

